―― 社会課題を、超えていく。――

UR都市機構

Sustainable Food Asia

令和８年（2026）６月10日

独立行政法人 都市再生機構

東日本都市再生本部

Sustainable Food Asia 株式会社

＼ 新橋・虎ノ門のまちづくりもURであ――る。 ／

新虎イノベーションイニシアティブ「Foodα」新拠点施設

「Sustainable Food Lab 02」　６月12日（金）オープン

独立行政法人都市再生機構（以下、ＵＲ都市機構）と Sustainable Food Asia 株式会社（以下、SFA）は、新虎イノベーションイニシアティブ「Foodα（フーダ）」の取り組みの一環として、食領域のスタートアップ企業向け小規模オフィス「Sustainable Food Lab 02（サステナブルフードラボ02）」（以下、本施設）を、６月12日（金）に開設します。

本施設は、食領域スタートアップ企業の活動ニーズに対応するとともに、Foodαにおける“働く場”をさらに拡張するために、ＵＲ都市機構の保有物件を SFA が活用し開設するものです。

Foodα の拠点施設である「Sustainable Food Museum」（展示・体験・交流等施設）、「Sustainable Food Lab」（テストキッチン／シェアオフィス等）と本施設を一体的に運営することで、新橋・虎ノ門エリア（以下、新虎エリア）に点在する“見せる場”“働く場”“つながる場”などの拠点施設を連動させ、食を起点に社会課題解決に挑戦するスタートアップ企業への支援メニューの拡充を図ります。

ＵＲ都市機構は、SFA をはじめとするパートナー企業と共に、新虎エリアにおける“まちぐるみ”での食のイノベーション創出を推進してまいります。

本施設のフロア図

【お問い合わせ先】

■「Sustainable Food Lab 02」に関するお問い合わせ

Sustainable Food Asia 株式会社　e-mail：info@sustainablefoodasia.com

■新橋・虎ノ門地区のまちづくり、Foodαに関するお問い合わせ

ＵＲ都市機構 東日本都市再生本部 総務部総務課（広報担当）　電話：03-5323-0625

＜本施設の概要＞

全５区画の小規模オフィスで構成されており、１名用から最大 12 名用まで利用人数に応じて区画を選択することが可能です。各区画には内装および家具をあらかじめ完備しているため、初期費用や移転に伴う準備の手間を軽減し、スムーズに入居できます。

【アクセス】 東京都港区新橋４丁目 31-7 （新橋駅 徒歩 10 分、内幸町駅 徒歩４分）
【フ ロ ア】 ４階（EV あり）、現況床面積 84.24 ㎡(共用部含む)
【共 用 部】 給湯スペース、男女別トイレ、洗面台、冷蔵庫、プリンター

本施設の写真

＜参考：「Foodα」について＞

ＵＲ都市機構、株式会社リバネス、SFA、株式会社 UnlocX および日鉄興和不動産株式会社の５者が、東京都港区の新虎エリアにおいて、食を起点とした社会課題解決に挑戦する多様なプレイヤーの集積・交流促進を図り、イノベーション創出をまちぐるみで育む枠組みです。

スタートアップ企業向けの支援として、既存ビルをリノベーションし、サステナブルな食をテーマに、企業や個人、地域が交わり新たな価値を創造する、まちに開かれたショーケース「Sustainable Food Museum」、サステナブルフードの開発と普及を目的としたキッチン付きのシェアオフィス施設「Sustainable Food Lab」を設置しています。

【Foodα ホームページ】https://fooda.tokyo

ＵＲ都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害対応支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

https://www.ur-net.go.jp/

社会課題を、超えていく。
UR都市機構
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。